

# 正光錦(せいこうにしき)

登録番号：第1407号

登録年月日：昭和62年8月7日

登録者：佐藤正光（福島県伊達郡伊達町箱崎字前畑28番地）

育成者：佐藤正光

来歴：「香夏錦」の自然交雑実生とみられる

## 特性

### ■栽培特性

樹姿は開張、樹の大きさは小、樹勢は中くらい～やや弱である。枝の発生密度は中程度であり、枝梢の太さは中で、節間長は短である。葉形は短楕円形、葉の大きさは「佐藤錦」程度で大きい。蜜腺の形は腎臓形である。

開花期はやや早く、「高砂」とほぼ同時期かそれよりやや遅く、「佐藤錦」より2～3日早い。芽は鈍形で、花束状短果枝の着生は多く「佐藤錦」程度である。花の大きさは大で、生理落果が少なく、結実性は中～やや多である。

交配和合性のある品種は「高砂」「紅さやか」「佐藤錦」である。これらの混植園で十分結実が見込まれる。

### ■果実特性

果実の外観は短心臓形で「佐藤錦」と似ている。果頂部はやや尖、こうあの深さは中、広さはやや狭い。果実の大きさは「高砂」程度で、5～6gである。核は短楕円形で果実に比べて大きく、果肉との粘離は半粘である。

果皮色は黄色地色に鮮紅色に着色する。着色程度は比較的多く、果実全体に着色する。果皮に光沢があり外観は良好である。果肉の色は乳白色で、果肉内および核周囲の着色は見られない。果肉の硬さはやや軟で、果汁は多い。糖度は17～19度と早生品種としては比較的高く、酸味はやや少ない。甘酸のバランスが良く、食味は良好である。

成熟日数は満開後45～50日程度で「高砂」よりやや早い。

### ■栽培状の留意点

灰星病や裂果の発生は中程度であるが、慣行の栽培体系では特に問題となる点は見られない。

樹勢は中からやや弱く、結果期に入ると結実部位は開張してくる。そのため、樹勢の低下などには十分留意し樹勢を強めに管理する。樹勢が弱いと小玉化し、商品価値が低下する。

早生品種として位置づけられるが、早期収穫では食味が淡泊となり、収穫が遅れると果実が軟化する。品種の特性を十分に生かすには満開後45～50日の収穫を徹底することが望ましい。

### ■地域適応性

この品種は樹が比較的コンパクトな早生の白肉品種として特徴づけられ、北海道および本州の冷涼地において栽培は十分可能と考えられる。平成5年における栽培面積は、山形県、青森県を主体に8.7haとなっている。全国のアウトウ栽培面積の約0.3%を占めている。

(石黒 亮)